

Faronics Insight

COMPREHENSIVE Lab Control

Teacher Quickstart Guide

Web: www.faronics.com

Eメール: sales@faronics.com

電話番号: 800-943-6422 または 604-637-3333

ファックス: 800-943-6488 または 604-637-8188

営業時間: 月曜日～金曜日 午前 7 時から午後 5 時 (太平洋標準時刻)

Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics, Deep Freeze, Deep Freeze Mac, Deep Freeze Cloud, Faronics Core, Faronics Anti-Virus, Anti-Executable, Faronics Device Filter, Faronics Power Save, Faronics Insight, Faronics System Profiler, および WINSelect は、Faronics Corporation の商標および / または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。

はじめに

本ガイドは、Insight Console を初めてお使いになる教師の方が簡単に概要を参照できるようにするためのものです。Insight のセットアップと設定については、『Insight ユーザーズガイド』を参照してください。

Insight の使用

教師のコンピュータの使用

教師のコンピュータのタスクバーには小さな Insight アイコンがあります。このタスクバーはコンピュータ画面の右下にあります。

アイコンをダブルクリックすると、Insight Console が開きます。アイコンを右クリックすると、Insight メニューが開きます。このメニューを使用して、Insight の主要な機能を管理できます。

ユーザーインターフェイスのヒント

教師が日常的に使用する機能のほとんどは、タスクバーの Insight メニューからアクセスできます。より高度な機能は、Insight Console で使用できます。重要な機能はすべて、デモンストレーション、モニター、制限、管理、表示の 5 つのメニュー項目のいずれかにグループ化されています。

Insight コンソールの使用に関するいくつかのヒントを次に示します。

Insight ツールバーボタン

Insight の機能を使用するには、学生（複数可）を選択し、希望する機能に対応するボタンを Insight ツールバーでクリックします。ボタンが押された状態になり、明るい色に変わります。この機能の使用を終了するには、ボタンを再度クリックします。Insight ツールバーの一部のボタンは、右側に小さな矢印があります。矢印をクリックすると、その機能の他のオプションにアクセスできます。

ウェブおよびアプリケーションの制限の有効化

ウェブおよびアプリケーションの制限を有効にするには、この機能を設定する必要があります。[オプション]メニューで機能を設定し、メニューまたはツールバーで有効にします。

右クリック

Insight Console で高度な機能を使用するには、詳細表示またはサムネイル表示のいずれかから、学生のコンピュータを右クリックするとアクセスできます。

暗黙の全学生選択

学生が 1 人も選択されていない場合、[画面の消去]または[教師を表示]などの主要な機能を使用する際に、すべてが選択されているものと暗黙的に見なされます。学生が 1 人も選択されていない状態で、教師がツールバーの[画面の消去]ボタンをクリックすると、すべての学生の画面が空白になります。

画面のリフレッシュ

[F5] キーを押すか、またはメニュー項目の [表示] から [リフレッシュ] を選択すると、学生のコンピュータの検出が開始し、コンソールの一覧がリフレッシュされます。

並べ替え

デフォルトでは、詳細表示は [ログイン名] 欄を基にしてアルファベット順に並べ替えられた状態で表示されます。別の欄の見出しをクリックすると、選択した欄を基にしてリストがアルファベット順に並び変えられます。

Insight タスクバーのメニュー

タスクバーにある Insight のアイコンを右クリックすると、ほとんどの教師が日常的に使用する機能を含むメニューが表示されます。

Insight ツールバーの使用

Insight の Teacher Console のツールバーに表示されるアイコンの説明は次のとおりです。

教師の画面の表示



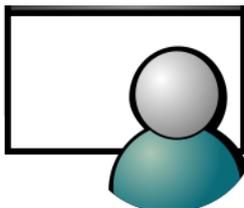
すべての学生に対し教師と同じチャンネルで教師の画面を表示できます。

[全画面表示] または [ウィンドウ表示] モードを選択します。[全画面表示] モードでは、学生の画面全体に教師の画面が表示され、学生はマウスとキーボードが使用できなくなります。

[ウィンドウ表示] モードでは、学生のコンピュータに表示されるウィンドウの中に教師の画面が表示されます。学生はウィンドウのサイズを変更したり、教師の説明に従うことができます。

このコマンドは [デモンストレーション] メニューからも使用できます。

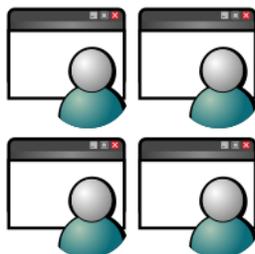
学生の画面の表示



ある学生の画面を他の学生に表示するには、学生を選択し、[学生を表示] ボタンをクリックします。このボタンが有効な間、選択された学生は自分のコンピュータを制御することができ、その学生の画面は教室のその他の学生のコンピュータに表示されます。

このコマンドは [デモンストレーション] メニューからも使用できます。

すべての学生の表示



最大 256 台の学生のコンピュータを同時に表示できます。各学生の画面は、Insight Console にサムネイルで表示されます。

このコマンドは [表示] メニューからも使用できます。

リモートコントロール



選択した学生のワークステーションを制御できます。選択した学生のコンピュータのマウスとキーボードをリモートで操作できます。ワークステーションが 1 台のみ表示されている場合、教師が行う操作は選択したワークステーション上でも全く同じように行われます。Insight では、教師はコンピュータをログインプロンプトで制御できます。リモートで制御しているコンピュータに [Ctrl] - [Alt] - [Del] コマンドを送信するには、[モニター] をクリックし、次に [Ctrl-Alt-Del を送信] をクリックします。

このコマンドは [モニター] メニューからも使用できます。

メッセージの送信



一部またはすべての学生にメッセージを送信できます。この機能は、注意力散漫になっている学生を授業に集中させるために効果的な方法です。

このコマンドは [モニター] メニューからも使用できます。

画面の消去



教師のチャンネル上のすべての学生の画面を空白にし、すべての学生のキーボードとマウスを使用できない状態にします。学生の画面が空白になると画面に表示されるテキストは、[教師] タブの [オプション] ボタンをクリックすると変更できます。

このコマンドは [制限] メニューからも使用できます。

学力テストモード



新しい学力テストモードを使って学生が学力テストを受ける際に、教師は学生のコンピュータをロックされた安全なモードにすることができます。

テスト



教師は、最大 100 個の質問を含むテストを作成することができます。質問は○×式または多項選択式にできます。.jpg、.png、.gif、.bmp の形式の画像を追加することができます。Test Builder にアクセスするには、[デモンストレーション] > [テストの作成] をクリックするか、ツールバー上のテストアイコンのドロップダウンリストをクリックします。

投票



はい・いいえで答える質問または多項選択式の質問を Insight Console から行い、回答した学生の数やその回答の内容をリアルタイムで確認できます。

このコマンドは [デモンストレーション] メニューからも使用できます。

ネットワークの不正使用



ネットワークの不正使用機能とともに SSID 制限を使って、ワイヤレスの不正使用を防止し、校内で必須ワイヤレスネットワークが利用可能の場合に、学生がそのネットワークにのみ接続することを確かにします。

ウェブの制限



すべての学生または選択した学生に対して、インターネットへのアクセスを一時的に無効にできます。[すべての Web 閲覧をブロック]を選択すると、学生はどのブラウザを使用しても、ウェブサイトにはアクセスできなくなります。このオプションにより、電子メールのクライアントや一般的なインスタントメッセージャーも一時的に無効にできます。

[次の Web サイトを許可]または[次の Web サイトをブロック]を選択することにより、教師は、学生が閲覧を許可されたウェブサイト、または禁止されたウェブサイトのリストを指定できます。この機能は Internet Explorer のみに対応しており、他のブラウザでは動作しません。

このオプションは、[オプション]ダイアログで設定し、[Web を制限]ボタンまたはメニュー項目の[制限]をクリックして、有効にする必要があります。インターネットが使用不可になっている間、教師と学生の両方のコンピュータ上のアイコンには、ウェブが使用できないことが示されます。

ウェブ制限の警告を学生に表示するかどうかを設定できます。警告はポップアップダイアログとして表示されます。

このコマンドは[制限]メニューからも使用できます。

アプリケーションの制限



すべての学生または選択した学生に対して、指定したソフトウェアアプリケーションへのアクセスを一時的に無効にできます。このオプションは、[オプション]ダイアログで設定し、[アプリケーションを制限]ボタンまたはメニュー項目の[制限]をクリックして、有効にする必要があります。教師は許可されたアプリケーションまたは禁止されたアプリケーションのリストを保存し、読み込むことができます。

このコマンドは[制限]メニューからも使用できます。

印刷の制限



学生のワークステーションに接続されているプリンタへのアクセスを制限できます。このツールバーコマンドを選択すると、学生のコンピュータのタスクバーにプリンタ使用不可のアイコンが表示され、教師のコンソールのステータス欄にも同じアイコンが表示されます。

このコマンドは[モニター]メニューからも使用できます。

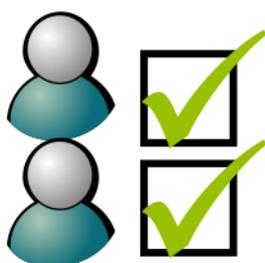
電源オプション



コンソールから、選択した学生のマシンをシャットダウン、ログオフ、再起動できます。また、Wake-on-LAN 技術を使用して、リモートでコンピュータの電源を入れることができます。

このコマンドは [管理] メニューからも使用できます。

クラスリスト



One2One ユーティリティを備えた Insight Teacher Console では、ツールバーのオプションボタンはクラスリストツールバーボタンに置き換わります。それにより、[オプション] メニューへのアクセスは、[管理] メニューを開き、[オプション] を選択すると行えます。One2One 機能がインストールされると、教師はクラスリストツールバーボタンを使って、保存されている学生のリストと現在の Insight セッションでモニターされている学生を比較できます。

この保存されたリストを開いて、Insight 教室を退出した学生と教室に参加している学生を確認することができます。

欠席している学生（保存されたリストには存在し、現在の Insight セッションには存在しない学生）は保存されたリストから削除できます。

新しい学生（保存されたリストには存在せず、現在の Insight セッションには存在している学生）を保存されたリストに追加できます。

共同の閲覧とプログラムの実行



教師がブラウザを起動してウェブサイトを開くと、同じウェブサイトが学生のコンピュータにも表示されます。共同の閲覧を有効にするには、[デモンストレーション] > [インターネットを一緒に閲覧] をクリックします。Teacher Console でブラウザを起動し、ウェブサイトを開きます。ブラウザが学生のコンピュータで自動的に起動し、同じウェブサイトが表示されます。

この機能を使用して、学生のコンピュータでアプリケーションを実行したりウェブサイトを表示できます。これは、特定のウェブサイトの表示やアプリケーションの起動が難しい低学年の生徒にとって、非常に便利です。

このコマンドは [デモンストレーション] メニューからも使用できます。

学生の画面のスナップショット



[スナップショット] ボタンをクリックすると、学生の画面を標準画像ファイル (.bmp) で保存できます。

このコマンドは [モニター] メニューからも使用できます。

